

# 総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習

6年

世界規模で考え、身近なところで行動する！

Think globally act locality



高学年になると、新聞やニュースをきっかけに、世界の出来事について関心をもち始めます。そこで、ユネスコの「世界寺子屋運動」に参加させ、世界の仲間のために具体的な行動をとる場を設けました。世界と自分との距離を縮め、グローバルな視点で「考える力・行動できる力」を身に付けていく学習です。

## 学習活動の流れ（50時間）

学校に行きたくても行けない子供などネガティブな情報も与えることで、子供たちの心情に迫る活動にしました。

活動の焦点がずれないように、ユネスコの方に来ていただき、インドの現状について詳しく教えていただきました。

### 世界の情勢を知ろう（5）

- ・文字が読めなくて足を失った子供
- ・同じ年なのに働く子供などを知る

### 世界寺子屋運動に参加しよう（7）

- ・対象国のインドのことを調べよう
- ・プロジェクトに分かれて活動しよう

### 書き損じはがきを集めよう（10）

- ・ポスターやリーフレットで寺子屋運動を広めよう

### 活動を発信しよう（6）

- ・地域や学校全体に広めよう

### 他にできることは…。学習をまとめよう（22）

- ・他の国についても調べよう
- ・自分にできることは何か？

ユネスコの世界寺子屋運動とは、書き損じはがきを集めたり、リーフレットを作ったりする活動です。意外な活動が外国に学校を建てるという成果につながります。



インドの学校について学ぶ

## 教材・活動の Point!

### 1. 同じ子供でも、自分たちとは違うことに気付かせる

世界の国々の様子を学ぶ学習を、共通の体験として位置付けました。同年代が抱える具体的な事実を提示することによって「自分たちも何かしたい！しなければならない！」という思いを起こさせるようにしました。

### 2. 書き損じはがきを集める活動を活性化させるために

ただ単に集める活動であれば、いつでも誰でもできる活動です。しかし、寺子屋運動をもっと広めるため、そもそもはがきを集めるために、具体的な数値目標や様々な人のアドバイスをもらいました。そのことによって活動が活性化していました。



### 3. 切実感を高めるためのゲストティーチャー

はがき集めをしていく子供たちは「なかなか集まらない」という壁に当りました。集める方法を再検討することはもちろんのこと、誰のための活動なのかを振り返るために、ゲストティーチャーに、もっと詳しいインドの実情などを話してもらいました。

